

まちの記憶を、 次の世代へつないでいく。

元筑西市長 須藤茂 Suto Shigeru



元市長の須藤さんは、行政の立場を離れた今も、まちの行く先を見守り続けています。在任中に大切にしてきたのは、日々の暮らしの中にある小さな変化でした。数字や制度の向こうにいる一人ひとりの生活を思い、「この判断は、10年後のまちの風景につながっているか」を常に問い続けてきたと言います。

「まちは、誰かが完成させるものではなく、引き継がれていくものなんです」。

そう語る須藤さんの言葉には、功績を語らずとも、にじみ出る時間の重みがあります。今、民間企業や市民が自ら動き始めている姿を、少し誇らしそうに見守りながら、須藤さんは願います。

過去を大切に抱えながら、まちが自分の足で未来へ進んでいくことを。

■ 須藤さんのおすそわけは、
経験に基づいた行政や政策についての質問に答えることです。
連絡先は、メール：k123-sutousan@docomo.ne.jp